



# ただひろ しまぐち忠弘

## 県政レポート

2019年10月  
18

### 未来に誇れる愛知を目指して!

愛知県議会議員 嶋口 忠弘

議会運営委員会 委員・経済労働委員会 委員  
文化・スポーツ・観光振興対策特別委員会 委員  
新政あいち県議団 政策調査会長  
全トヨタ労連顧問・アイシン労働組合顧問・専門部員

### 「新政あいち県議団」として 政策提言書を知事へ提出

本県は県内総生産では、**大阪を抜いて全国2位**となり、**雇用環境では就業者数も大きく増加**するなど、めざすべき愛知の姿に向け、着実に前進してきております。

しかし近年では、AI、IoT等の技術の進展に伴う**第4次産業革命の到来**や、訪日外国人旅行者の急増など、社会経済環境には様々な変化が表れています。また、一段と加速する**東京一極集中の是正**や、「働き方改革」の推進、入管法改正に伴う**外国人材の受入れ環境の整備**、さらには、**国連が掲げた世界共通の目標であるSDGs（持続可能な開発目標）達成に向けた対応**など、新たな政策課題が顕在化してきています。

こうしたことから、我が団においては、県の総合計画や個別ビジョンなどについて、その進捗状況・達成度を精査・検証することで県施策の課題を掘り下げ、そして、従来の「**県民目線**」「**生活者目線**」「**勤労者目線**」「**現場目線**」そして「**女性目線**」の5つの視点をもって、将来愛知のめざすべき社会モデルを念頭に、「**令和2年度 施策及び当初予算に対する提言**」を取りまとめ、9月定例議会の閉会日となる10月15日に大村知事へ提出しました。



県議団を代表して、安藤としき団長(写真中央)はじめ団5役が大村知事に提言書を提出

### 主な提言内容

1. 『日本一元気な愛知』づくりに  
向けた行財政改革の推進



2. 県民の生命・財産を守る  
強靱な県土づくりの推進



3. 多文化共生社会づくり  
の推進



4. 子ども・子育て支援、  
児童福祉の拡充



5. 高齢者福祉の充実・強化



6. IoT、AI等の活用による  
「第4次産業革命」への対応



7. 雇用の安定と創出及び  
適正な就労環境の確立



8. 豚コレラ対策の徹底と  
畜産農家支援の推進



9. 教員の多忙化解消と  
良好な教育環境の整備



10. 交通事故防止対策の推進



以上の提言内容以外にも、**地球温暖化対策の推進**や**中小企業の人材確保と事業継承の推進**・**愛知国際展示場を活用した観光交流機能の充実**・**空き家対策の推進**など、愛知県が抱える諸課題の解決に向けた積極的な提言となっております。今後は、今回取りまとめた、この『**令和2年度 施策及び当初予算に対する提言**』が確実に県政に反映されるよう仲間の議員と協力し、県に働きかけていきます。  
(提言内容詳細は、「新政あいち県議団」ホームページをご覧ください)



## 代表質問

9月定例議会が9月20日～10月15日までの会期で開催され、自由民主党・新政あいち・公明党の3会派から代表質問を行い、新政あいち県議団からは幹事長の西久保ながし議員(岡崎市及び額田郡、3期)が登壇し、県政に関する諸課題について県の考えを質した。

## 主な質問① 子どもや高齢運転者の交通安全対策について

### Q 国の緊急対策を踏まえ、子どもや高齢運転者の交通安全対策にどのように取り組んでいくのか?



質問する西久保県議

**A. 大村知事 答弁** 子どもの追加対策については、幼稚園や保育所が日常的に利用する経路の危険箇所について、施設の管理者や道路管理者、県警察等が合同で緊急安全点検を実施し、本年度から順次、防護柵の設置などの対策に着手していく。また、高齢運転者の追加対策については、日常の安全運転を支えるセミナーや、安全運転サポート車の普及促進イベントを県内各地で開催し、交通安全意識の更なる向上を図っていく。さらに、安全運転支援装置の普及に向けた補助制度については、国が今後、創設する性能認定制度を踏まえ、市町村と連携を図りながら、前向きに検討を進めていく。

## 主な質問② 外国人材の受入・共生に向けた取り組みについて

### Q 外国人材の適正な受入、また生活者として、ともに安心して暮らし、活躍できるようにするため、今後どのように取り組んでいくのか?

**A. 大村知事 答弁** 本年2月に立ち上げた「外国人材適正受入れ・共生推進協議会」において、外国人の労働環境や生活環境の整備に取り組んでいる。今後は、在留手続、雇用、医療、福祉、教育など、幅広い相談にも対応できるよう、機能の拡充を図っていく。さらに、町内会役員や外国人雇用企業の関係者などを対象として養成した「地域多文化コーディネーター」を通じ、地域活動への参加を促すとともに、県内全ての民生委員に「あいち多文化共生センター」に関する情報を提供し、外国人県民が地域の一員として受け入れられる環境を整備していく。

## 主な質問③ 将来に向けた先端技術の取り組みについて

### Q 先端技術の取り組み、また国内外からのIT関連企業の誘致や最先端の頭脳の集積について、これまでの取り組み、また今後、何に力点を置いて取り組んでいくのか?



答弁する大村知事

**A. 大村知事 答弁** 世界トップクラスの支援機関との連携を図るための覚書を、パリ市の経済開発公社とフランス最大の工学系高等専門学校、シンガポール国立大学と相次いで締結し、さらに、中国の清華大学とも締結する予定。また、今議会にスタートアップの支援拠点の整備を提案するなど、迅速かつ的確な施策展開を図っていく。こうした取り組みを通じて、IT関連のスタートアップなど、多くの企業や優秀な人材を国内外から集積させるとともに、モノづくり産業との連携・融合を図っていく。

## 主な質問④ プラスチックごみ対策について

### Q 中国等に輸出できない状況と社会問題化しているプラスチック問題に今後どのように取り組んでいくのか?

**A. 大村知事 答弁** 排出事業者に対して、廃プラスチックの排出量の削減やリサイクルの徹底を強力に要請するとともに、輸出業者等に対しては、業界団体や市町村とも連携し、適正な処理を指導・誘導する。また、事業者においては、立入指導等も踏まえ、新たな循環ビジネスの事業化を支援・促進し、資源循環体制の構築を図っている。また、清掃活動の展開、海ごみ問題を学ぶ啓発動画や学習プログラムのSNSへの配信など、取り組みの強化を図る。さらに、来年1月に開催予定の「ごみゼロ社会推進あいち県民大会」において、プラスチックごみ削減に向けた「県民宣言」の採択・発信に向け検討を進めていく。

## 経済労働委員会報告

### 【人手不足対策の取り組みについて】

- ・県下の就業者数は増加しているが、2019年1月の人口動態調査によると本県の日本人人口は前年から4,719人減少するなど、東京一極集中の流れは継続。
- ・若年者、女性、高齢者等に対するきめ細かな就労支援に取り組んできているが、県外からの人材確保による中小企業を始めとした県内産業の人手不足対策について質問した。



### Q1. 平成29年度から東京・名古屋に設置し、県外からの就職を支援する、「あいちUIJ支援センター」の運営状況と今後の取り組みについて?

**A1. 経済労働委員会 答弁** センターの実績については、東京圏・関西圏の大学訪問等を通じて、UIJターン希望者の掘り起こしを図り、登録求職者は累計928人となっている。今後、センターのさらなる利用促進を図るため、大学4年生を中心にアプローチを強化するとともに、県内企業に対しては、引き続き求人開拓をしっかりと取り組んでいく。

### Q2. 首都圏からの移住・就業希望者向けに県内中小企業の求人情報を掲載しているWebサイトの活用状況と「移住支援金」の支給実績について?

**A2. 経済労働委員会 答弁** まず、移住支援金は東京23区に連続して5年以上在住又は通勤されている方が県内へ移住し、かつ、県が運営するマッチングサイトに掲載する求人に就職した方が対象となっている。あいちUIJ支援センターのホームページアクセス数の実績だと、マッチングサイト運用開始前のアクセス数は1日平均約50件だったが、運用開始後のアクセス数は、1日平均で約150件と増加してきている。「移住支援金」については、就職後3ヵ月経過した9月からの申請となるため9月末段階での申請及び支給実績は発生していない。今後は、県内企業の求人情報を1件でも多くマッチングサイトに掲載するとともに、移住支援金の周知に、より一層取り組んでいく。

# MICE市場における先進的なプレイヤーをめざし、 愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」がオープン!!

「Aichi Sky Expo(展示面積60,000㎡)」は日本で4番目に大きく、最も新しい会議・エキシビジョンセンターとして、MICE市場における先進的なプレイヤーをめざして**2019年8月30日にオープン**しました。

**MICE**とは、Meeting(会議・研修・セミナー)、Incentive tour(報奨・招待旅行)、Convention またはConference(大会・学会・国際会議)、Exhibition(展示会)の頭文字をとった造語で、ビジネストラベルの一つの形態。参加者が多いだけでなく、一般の観光旅行に比べ消費額が大きいことなどから、MICEの誘致に力を入れる国や地域が多い。

愛知県は日本の中央に位置し、自動車・航空宇宙・ロボット工学などの主要産業を擁し、**日本で最も産業やテクノロジーが盛んな地域**である事から、訪れた多くの人に**伝統とテクノロジーの融合した「真の愛知らしさ」**を体験してもらえるような展示場をめざしてまいります。

また、Aichi Sky Expoは**中部国際空港に隣接**している事から、戦略的にグローバルネットワークを活用する事により、**国内外からの多くのイベント開催が期待**されており、県としても魅力あるイベント誘致を支援してまいります。



▲「Aichi Sky Expo」

## 愛知県国際展示場(愛称:Aichi Sky Expo)の概要

所在地	常滑市セントレア4丁目及び5丁目
建物	建物延べ床面積約9万㎡ 展示面積6万㎡、会議室18室、 多目的利用地約4万㎡
運営	愛知国際会議展示場株式会社 (特別目的会社)
主な特徴	(1)日本初の空港直結型の展示場 (2)日本唯一の常設保税展示場 (3)展示場(運営)として初の コンセッション方式を採用

(参考:これまでの主な国内展示場一覧(面積順))

施設名	所在都府県	展示面積
東京ビッグサイト	東京都	80,660㎡
幕張メッセ	千葉県	72,000㎡
インテックス大阪	大阪府	70,078㎡
ポートメッセなごや	愛知県	33,946㎡
パシフィコ横浜	神奈川県	20,000㎡
福岡コンベンションセンター	福岡県	14,000㎡



## 主な活動



▲ 19.7.1 安城七夕親善大使表敬訪問



▲ 19.7.20 愛知県消防操法大会



▲ 19.7.30 連合東海ブロック政策研究集会



▲ 19.8.2 第66回安城七夕まつり  
オープニング式典



▲ 19.8.19 ユタカクラブ議員協議会  
グループ研修



▲ 19.8.30 Aichi Sky Expo 開業式典



## 発行 しまぐち忠弘事務所

〒446-0059 愛知県安城市三河安城本町一丁目11番地1  
TEL 0566-77-2874 FAX 0566-77-2724  
ホームページ <http://www.giin-aiwu.com/shimaguchi/>

